

# 花巻中学校3年2組 理科 展開案

平成23年度11月2日13:30

学 級 3年2組 (男子18名 女子16名 計32名)

場 所 第2理科室

指 導 者 教諭 嶋 歩

1 単元名 6 「地球と宇宙」 第2章「惑星と恒星」

2 展開

段階	学習内容および学習活動	指導上の留意点 (教師の指導○ 評価◎ 研究との関わり☆)
導入 10分	1. 前時の復習をする。  2. 学習課題の確認をする。	○自己評価カードを配布する。 ○月の観察結果を発表させる。 ◎観察・実験の技能・表現 月の位置、形を観察、記録できたか。 ○本時の学習課題を把握させる。
展開	学習課題 月の満ち欠けの仕組みを調べよう。  3. 課題に対する予想を発表する。 ・ 月に関する知識を確認する。  4. 実験方法について確認する。  5. グループに分かれて実験を行う。 ①役割分担をする。 ②役割に基づき、実験を行う。 ③実験結果をまとめる。  6. グループごとに発表する。	○数人の生徒に発表させる。 ◎科学的な思考 月の光り方からどのようなことが起こっているのか 予想できたか。 ○事前に調べた月の観察の記録を参考に考えさせる。 (個人活動) ○実験方法の説明をする。  ○月、地球、太陽の3つに役割分担させる。 月が公転したとき、地球からどのように見えるかを確認する。 ◎関心・意欲・態度 積極的に実験に参加しているか。  ☆【共感的理解の育み】 ☆【自己存在感への配慮】
30分	7. 感想を発表する。	○他のグループの発表から、自分たちの考え方との違いや共感したところを発表させる。 ◎科学的な思考 実験結果から月がどのような位置にあるとき満ち欠けをするのか、月が地球の周りを公転していること に関連付けて説明できたか。 ○数人の生徒に発表させる。
終末 10分	8. 本時のまとめを行う。  9. 自己評価カード記入及び家庭学習の指示をする。	○月の満ち欠けのしくみをまとめる。 ◎知識・理解 月の満ち欠けの仕組みを理解することができたか。